

横手市



社協だより



No. 19
2011.1.1

●発行●横手市社会福祉協議会

「お誕生日おめでとうございます」
いつまでもお元気で

週1回、デイサービスセンター康寿館をご利用されている伊藤委代子さんは元旦がお誕生日です。館長からお祝いの花束が渡されると「職員やご利用者の方々との会話を楽しみにしています。」と笑顔で話をしてくれました。

～咲かせよう 「ありがとう」の花 満開に～

平成22年度横手市社会福祉大会

みんながつくる みんなの福祉を目指して

今年で6回目となる横手市社会福祉大会が、平成22年10月26日(火)に秋田ふるさと村ドーム劇場にて開催されました。大会には、市民の皆様のほか、民生児童委員や福祉協力員等の福祉関係者、福祉団体、ボランティアなど多数の方々にご参加いただき、住民参加と関係機関・団体等相互の連携により「誰もが安心して暮らすことのできる地域づくり」に積極的に取り組んでいくことを宣言しました。式典終了後、横手市・岩手県北上市・西和賀町在住の高齢者の皆さんによる高齢者劇団「平和座」の横手市公演が行われました。

大会では、長年にわたって地域福祉に貢献された方や団体、また他の模範となって活動されている方に対する表彰が行われました。表彰された方、団体は次の皆様です。(敬称略)

《横手市社会福祉協議会会長表彰》

- 石田 カツ(横手)
伊藤 喜代美(横手)
石川 健一(横手)
鎌田 キネ子(横手)

- 佐々木 洋一(平鹿)
増村 優子(雄物川)
藤原 トシ子(雄物川)
千田 實(十文字)
伊藤 和雄(横手)
武藤 昭雄(雄物川)
齋藤 キミ(平鹿)
社会福祉法人 大森保育園(大森)
川西保育所(大森)
白山保育所(大森)



登下校時の見守り活動が続け表彰された伊藤和雄さん



「ことばがつなく 心の橋」と題して山田結莉さんは感謝の気持ちを伝えることの大切さなどについて意見発表してくれました



「今、私にできること」と題して高橋璃帆さんは家族の絆と思いやる心などについて意見発表してくれました

《横手市社会福祉協議会会長感謝状》

- 小松田 岩次郎(雄物川)
鈴木 典男(大森)
高橋 勇二(大雄)

《秋田県共同募金会会長表彰(伝達)》

中学生の部、小学生の部の優秀作品及び受賞者は、P3に掲載しています。



笑いと感じに包まれた公演 演目「七人の桜井(さくらい)」

標語に託した熱い思い

平鹿中学生に聞く

未来を担う市内の小学校4.5.6年生の児童と中学校全学年の生徒の皆さんを対象に「福祉(しあわせ)の標語」の募集を行いました。多数の作品が寄せられた中から特に優秀な作品12点を横手市社会福祉大会において表彰いたしました。



今回取材に協力してくれた生徒の皆さん 右から佐藤さん・山田さん・藤原さん・酒井君・奥君

■どんな思いでこの標語を作りましたか？

・自分が困っている時などに親切にしてくれた人のことを思い出して書きました。
・見返りを求めてあげたことではないのになんか手につく感じがした。
・一人暮らしの高齢者がいたり、近所付き合いが減っている中でもっと皆に笑顔が増えればいいなと思いつきました。
・小さいころ祖父におんぶしてもらって乗った電車の楽しさとその背中を温もりを思い出しながら書きました。
・一緒に住んでいる祖母との会話で使っている方言が自然と思いつきました。
・受賞した時の感想は？
・まったくこういって賞を意識せずに作ったものなので先生から入賞したことを聞いた時はとても驚きましたが、家族やクラスメイトに「おめでとう」と言ってもらった時には嬉しさと同時に感謝の気持ちが湧いてきました。

■自分の住む地域でこれから行いたいと思うことは何ですか？

・自分は人見知りする性格でそういった面が人との交流の妨げになっていたと感じます。



米沢谷先生

これからは挨拶をきちんとするところから始め、初対面の人とも接していけたらと思います。
・これまで以上に地域の方との交流を深め、お年寄りの方の見守りなど人の役に立てることをし、笑顔が溢れる地域にしていきたいと思っています。

■今回受賞した生徒の内、3名の担任の米沢谷修先生にも生徒達への思いをお伺いしました。

普段から生徒達には仲間を思いやり、大切に、コミュニケーションを積極的に交わしながら言葉や人間関係を大事にする指導をしてきました。
標語を考えたときはちょうど学校祭シーズンで、皆が心を一つにして合唱の練習をし、クラスの絆を深めようとしていた時期でもあり、それと同じように皆が一丸となって地域のことを考えてみようと思いがけってみました。

受賞したことを生徒に伝えた時は、クラス全員が自分のことのように喜び、その姿に生徒達の成長を感じることができました。こうした経験を通して生徒達には、自分が誰かのために力を尽くし、それが最後にくることを理解して巣立って行ってほしいと考えています。

平成22年度 福祉(しあわせ)に関する標語

【中学生の部】

●最優秀賞

咲かせよう 「ありがとう」の花 満開に

●優秀賞

「まめでらが」 そのひと言に 咲く笑顔
優しさは あなたがくれる おくりもの

●優良賞

元気だから？ 声かけ、みんなの笑顔咲く
まずねまれ お茶つこのんで 近所の絆

自分発 やさしさ電車 みんな行き

【小学生の部】

●最優秀賞

小さな手 みんなでつなげば 大きな未来

●優秀賞

やれること きつとあるはず 自分にも
「ありがとう」 笑顔にかえる まほうの言葉

やさしさは だれもが結べる 心のリボン

●優良賞

だした手と 心がつながり 一つの輪
のびした手 やさしさあふれる 希望の手



こちら地域情報局

地域的话题をお届けします

ミニデイ“秋の大運動会” 11月15日

山内体育館において、「自立者支援通所(ミニデイ)事業」利用者さんの全体交流会を行いました。山内地域内の利用者さんが月曜日～金曜日の利用日別対抗戦で各種競技に走り？走られ？大いに笑い、昼食には山内いものこ汁に舌つつみし、一日を楽しみました。



借り物競走の山内版



アハハハ。見ているほうも大笑い！

『会話もはずみ、笑顔があふれました』 11月18日



久しぶりの再会に会話もはずみでした。久しぶりの温泉施設に行ってきました。参加された皆様は、「久しぶりだごと〜」「まめだったか？」と昼食交流会や入浴を楽しんでおられました。

秋晴の一日、山の紅葉と雄大な海の景色を見ることができ、秋を満喫して帰路につきました。これから冬にも交流会を予定しておりますので、たくさんの方にご参加いただきたいと思います。

「ものづくり」で みんなが楽しくボランティア 12月1日

増田

全3日開催される南部地区ボランティア養成講座の1日目が開催されました。

廃材を利用したちょっとE.C.Oな「ものづくり」をテーマに開催し、当日は新聞紙でE.C.Oバッグを作りました。当日は20名の方が参加され、ものづくりを楽しみながらボランティア活動について考える講座となりました。



新聞紙でつくるE.C.Oバッグ

実りの秋♪ 食欲の秋♪



横手

掘り方を教わりながら、がんばって収穫しました

10月に金沢地区資源保全隊の皆さんと金沢保育園の園児がさつまいも掘りをし、地域のお年寄りに食べてもらいたいと、金沢地区福祉協力委員会へご寄付いただきました。

当日はあいにくの天気でしたが、園児たちのパワーと笑顔で収穫の喜びを全員で感じることができました。

園児と楽しくふれあい♡交流会

平鹿

今年度で3年目のふれあい交流会が吉田保育所、下鍋倉保育所を会場に開催されました。

ミニおゆうぎ会や昔遊び、秋空の下での昼食会など楽しい内容の交流となりました。

子供たちの“うた”や“おゆうぎ”にご高齢者の皆さんも手拍子でリズムを取ったり口ずさんだり、一緒におこなった昔遊びに楽しいひとときを過ごしました。

参加者の方からは「毎年参加しているので今回も楽しく参加させてもらいました。子供達と触れ合える機会をもっと設けて頂けたらと思います。」との声がありました。



折り紙で何ができるかな
10月13日：吉田保育所



元気いっぱいの合唱
11月2日：下鍋倉保育所

“共にたすけあい、理解しあいながら支える地域づくりを目指して”

「輪気愛相」「ふれあいフェスティバル」を開催！

輪気愛相

障がいのある方とご家族やボランティアが集まり、旅行やスポーツ交流を通して、相互理解や社会参加促進を目指しています。年々参加者は増え、現在では各回100名を超える程となっております。

9月23日(水) 秋分の日、参加者・ボランティア合わせて121名で仙北市『田沢湖ハーブガーデン・ハートハーブ』に行ってきました。パイキングや手作り体験をし、終始笑顔でした。



いっぱい料理があって、しかもおいしい♪



手作り体験で貴重な経験ができてよかった



いろんな人と交流できてよかった



ゲームが楽しかったよ

10月31日(日) 横手市あさくら館にて、『スポーツ交流会』を開催しました。当日は、ボランティアを合わせて119名が参加。それぞれがチームに分かれ、「大玉ころがし」や「車イスでパン食い競争」など4種目を行いました。

ふれあいフェスティバル

障がいやボランティア活動への理解を深め、共に支えあう地域づくりを目指して、アトラクションやボランティア・体験交流などを行っております。

多目的ホールではミニクリスマスツリーづくりやふくし川柳などを行いました。

講堂では大森地区の保育所・園によるアトラクションや太陽の園の皆さんによるアンサンブルなどが披露されました。



手作り体験コーナーの様子



川西保育園の太鼓演奏

当日寄せられたエコキャップ、プルタブ、ベルマーク、書き損じはがきは、市内の施設、団体等に寄付させていただきました。ご協力ありがとうございました。

平成22年度 横手市共同募金会主催 街頭・イベント募金実績報告



街頭募金：7地区
イベント募金：3地区
計 250,375円



元気あふれる睦合保育園児

十文字地区では10月17日(日)、十文字文化センターにおいて「赤い羽根共同募金ふれあいのつどい」と題してチャリティコンサートが開催されました。地域の協力を得て、保育園児や踊り愛好会の踊りや、おはなしの会による読み聞かせと昔語り、民謡歌手によるショーなど、多彩なステージが繰り広げられました。

街頭・イベント募金にご協力頂きました皆様、また募金を寄せて頂きました皆様に感謝申し上げます



山内福祉センター指定居宅介護支援事業所

介護のこと なんでも相談してもらえる 親しみやすい事業所をめざしています。

事務所はゆうらく館内玄関左横にあります。近くに鶴ヶ池荘、隣は特別養護老人ホーム鶴寿苑となっています。自然豊かな山内地域の中で、四季折々の美しさを十分に感じながら仕事をさせていただいております。

介護支援専門員（ケアマネ）は3名、全員女性です。在宅介護支援センターとしても山内地域に根ざしたサービスの提供を心がけております。地域のみなさまに「安心とやすらぎ」を持っていただけるよう、3人で力を合わせて努めていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



女性パワーと大自然のエネルギーで
元気ががんばります！
なんでもご相談ください。

- お問い合わせ先**
- 事業所名● 横手市社会福祉協議会
山内福祉センター指定居宅介護支援事業所
 - 所在地● 横手市山内土淵字鶴ヶ池31-3（ゆうらく館）
 - 電話● 53-3207
 - FAX● 53-3024
 - 営業日● 月～金曜日（祝日、12月29日～1月3日除く）
 - 営業時間● 8時30分～17時30分

職員リレー No.3

こんにちは

地域の皆さんに、職員の顔を覚えていただくため、毎回リレー方式で職員を紹介していきます。

大雄福祉センター指定通所介護事業所の 高橋和寛 です。

祖母がこの事業所を利用していたのがきっかけで、介護や福祉に関心を持ち、この仕事に就きました。

自分の家と変わりなく、ゆっくりと一日を過ごしてもらえるように心掛けています。是非一度見学に来て下さい。



ノロウイルスにご用心！ ～県内で流行中～

感染性胃腸炎の発症者が増えており、その多くはノロウイルスの感染が原因と見られています。今回は、そのノロウイルスに迫ります。

ノロウイルスとは

1.症状

吐き気や下痢、嘔吐、腹痛、発熱があります。1～2日程度で症状は治まりますが、ウイルスの発散がその後1週間、長い時には1ヶ月程度続くことがあります。

2.治療

医師に診断してもらいながら、脱水状態や体力の消耗を抑えるため十分な水分摂取と栄養補給を行います。（薬は医師の指示に従って服用を）

3.感染経路

①人→食品→人

ウイルスが付着した手で料理を作ったり、食器を触ることで食品にうつり感染するケース。

②食品→人

ノロウイルスに汚染された二枚貝や井戸水から感染するケース。（あくまでも汚染された物）

③人→人

感染者の便や嘔吐物が付いた手や物が口に入ったり、乾燥により空気中に舞い上がったウイルスを吸い込んだケース。

4.予防

どの感染症予防にも言えることですが、「手洗い」「消毒」「加熱（調理）」が基本的な対策になります。

介護を受けられている方のご家庭では、特に便のお世話や食事介助、オムツ・下着交換などの際に感染する可能性がありますので、行動の前後の手洗いや衣類やシーツ等の消毒などを行うよう心がけましょう。

介護の そこが知りたい

かいご通信



横手市社会福祉協議会では、市内各地区の小中学校にて「ふくし出前講座」を通じ、福祉教育のお手伝いをしています。その取組みの一部をご紹介します。

大森町 10月18日

～大森小学校6年生 疑似体験授業～

総合学習の時間に「福祉を考えよう」と、介助を受ける人、介助する人の視点に立って学ぶ疑似体験をしました。

★子どもたちから★

「障がいを持った人は、いつも危険ととなり合わせなんだなあと思いました」

「障がいを持った人が困っていたら優しく手伝ってあげたいです」



ヘッドホンで「聞こえにくさ」を体験中

平鹿町 10月28日

～吉田小学校5年生 ふくし体験授業～

車イスでの移動や高齢者疑似体験セットを装着しての歩行に大変さを感じた貴重な体験となりました。

★子どもたちから★

「階段を上る時、猫背になるときつかったのでお年寄りの方は大変だと思いました」

「お年寄りの方に対して、何か手助けをしてあげたいと思いました」



「段差に気をつけて！」

雄物川町 11月9日

～福地小学校4年生 疑似体験授業～

高齢者疑似体験と車イスの操作（広げる～操作・介助する～たたむ）を体験しました。

★子どもたちから★

「車イス駐車スペースには、車をおいちゃダメと言いたいです」

「体験で体に道具を付けて歩いたときは、こしがいたくて歩くのが大変でした」

「お年よりは、毎日、きつたいせいになっていてつらいなあと思いました」



「車イスでは少しの段差でも1人ではのぼれないことがわかりました」

「自走式車イスを体験してみたよ」



「声をかけあうことが大事だと思いました」

十文字町 11月25日

～十文字第一小学校6年生 人に学ぶ～

9月には高齢者・障がい者の体験を、今回は障がいを持つ方やボランティアとの交流から適切な関わり方などについての授業を企画しました。車イス利用者や盲導犬利用者、手話ボランティアの方々へ、日常生活についての質問をしたり、手話による演奏などで一緒に楽しみました。

★子どもたちから★

「積極的なコミュニケーションが大切と感じました」

「自分ができる手助けをしたいと思いました」



「えらいなあ～」と興味津々

この事業の財源は、皆様から街頭、職域、学校など様々な場面でご協力いただいている「赤い羽根共同募金」によるものです。あらゆる学びの場、学校だけでなく、地域の公民館や企業・団体などの研修などで実際に体験していただくことで、一層の高齢者・障がい者に対する理解や関心を深めていただくことを目的にしています。また、福祉関係者、施設、ボランティア団体とのコーディネートもいたします。

詳しくは、お近くの福祉センターまたは本部地域福祉課（裏表紙をご覧ください）まで、お気軽に御相談下さい。





平成23年1月4日(火)より社協本部・横手福祉センターが移転になります

社会福祉法人 横手市社会福祉協議会 【本部・横手福祉センター】

〒013-0072
秋田県横手市卸町5-10
卸町ビル 2階
本部TEL:0182-36-5377
FAX:0182-36-5388
横手福祉センター
TEL:0182-33-8668
FAX:0182-33-8778

※電話、FAX番号の変更はありません



本部と横手福祉センターの事務所は同じ2階のフロアになっております。

おためしサロンのご案内

来年度の「いきいきサロン」を立ち上げる前の施行的サロンとして、次の支援を行うのが「おためしサロン」です。

【内容】3月末までに2回以上サロン活動を行う地区へ1万円の助成を行います。

【申込等】1月末までに申請書をご提出下さい(申請書は最寄りの福祉センターにございます)。

また事業終了後、報告書をご提出いただきます。

【お問合せ先】最寄りの福祉センター 地域福祉係まで



善意

(平成22年9月1日～11月30日受付)
ありがとうございました

※広報発行回数が年4回になりますので、紙面への掲載が遅れますことをご容赦願います。

※「善意」の受付は、お住まいの地域の横手市社会福祉協議会各福祉センター・施設で行っております。

【横手福祉センター受付】

- 朝日綜合(株)様
- 立正佼成会横手法輪クラブ様
- 映画「いのちの山河」を観る会様
- 鶴田 聡様(前郷)
- 平鹿総合病院互助会様
- 地主ヤヘ様(田中町)
- 横手南中学校様
- 横手介護ボランティアの会様
- 横手清陵学院中学校・高等学校様

【平鹿福祉センター受付】

- 長澤 秀子様(朴田)
- よねや浅舞店様
- 伊藤 寿悦様(雄物川町)
- 佐藤 近子様(馬鞍上)

【雄物川福祉センター受付】

- 佐藤 健治様(東里二)
- 佐藤 彰様(高花下)
- 雄物川地域老人クラブ連合会様
- 梅若梅一 一座様
- 雄川ハーモニカ同好会様
- ブルーサルビア御一行様
- 雄物川相撲甚句声友会様
- 雄物川民謡同好会様
- 坪井 幸子様(新丁)

【十文字福祉センター受付】

- 佐藤 トク様(上仁井田)
- 十文字中学校第43期同期会様
- 堀田 和美様(栄町)
- 寺田 亨様(西原一番町)
- (株)いづか様
- 堀田 弘子様(本町)
- 高橋 繁樹様(植田)
- 手作りエトセトラ様
- 佐々木 玲子様(西原二番町)
- ほのほの会様
- 三重保育所様
- 横城小町様
- 光祥会様
- 十文字第一小学校様

【山内福祉センター受付】

- 高橋 一様(貝沢)
- 佐々木 敏子様(中黒澤)
- 佐々木 久一様(李原)
- 高橋 孝子様(新岩瀬)

【大雄福祉センター受付】

- 長谷川 信一様(宮丁)
- 高橋 清美様(西桜森)

【増田福祉センター受付】

- 五十嵐 ミエ子様(真人)
- 高橋 秀子様(本町)
- 沓澤 功一様(土肥館)

【平寿苑受付】

- 平鹿町樽見内保育園様
- 柿崎 ナミ子様(吉田)

【雄水苑受付】

- 秋田県看護協会横手地区支部様
- 佐藤 康様(薄井)
- 沼館婦人会様
- 高橋 歩惟様(横手市上真山)
- イオンスーパーセンター横手南店様
- 下鍋倉保育園様
- 樽見内保育園様
- 雄物川北小学校様

【憩寿園受付】

- 神原 實様(八兵エ丁)
- JA女性部助け合いグループほのほの会様
- 伊藤 みゆき様(荊島)
- 菅原 憲一様(梨木)
- おぐら理容所様(上仁井田)
- 傾聴ボランティアささやき様
- こひつじ幼稚園様
- 植田小学校6年生様

横手市社協だより ●発行● 横手市社会福祉協議会 〒013-0022 横手市四日町3番23号

TEL0182-36-5377 FAX0182-36-5388 E-mail syakyou5@agata.plala.or.jp

この広報に関するご意見ご感想をお待ちしております。

～小さな手 みんなでつなげば 大きな未来～